

Ⅱ 「継続無子家族」と「若年無子家族」・「若年一人っ子家族」の実態と意識

1. 回答者基本属性

1-1. 居住地域

回答者の居住地域をみると、【若年無子家族】は男女とも「関東」が4割以上を占めているのに対し、【継続無子家族】、【若年一人っ子家族】は3割強となっている。

都市規模別の分布を見ると、【若年無子家族】は「政令指定都市特別区」「10万人以上都市」の居住者が他グループに比べて多く、大都市圏に集中している傾向がうかがえる。

図表1-1. 居住地域(単数回答)(基数:全体)



1-2. 年齢(FS1)

【男性】

【若年一人っ子家族】の本人年齢は30代が76.7%を占めるが、【若年無子家族】では61.3%である。平均年齢は【若年無子家族】が31.3歳、【若年一人っ子家族】が33.9歳と、【若年無子家族】の方が2歳程度若い。【継続無子家族】では30代が44.0%、40代が55.3%であり、平均年齢はほぼ40歳で、若年グループとは10歳の開きがある。

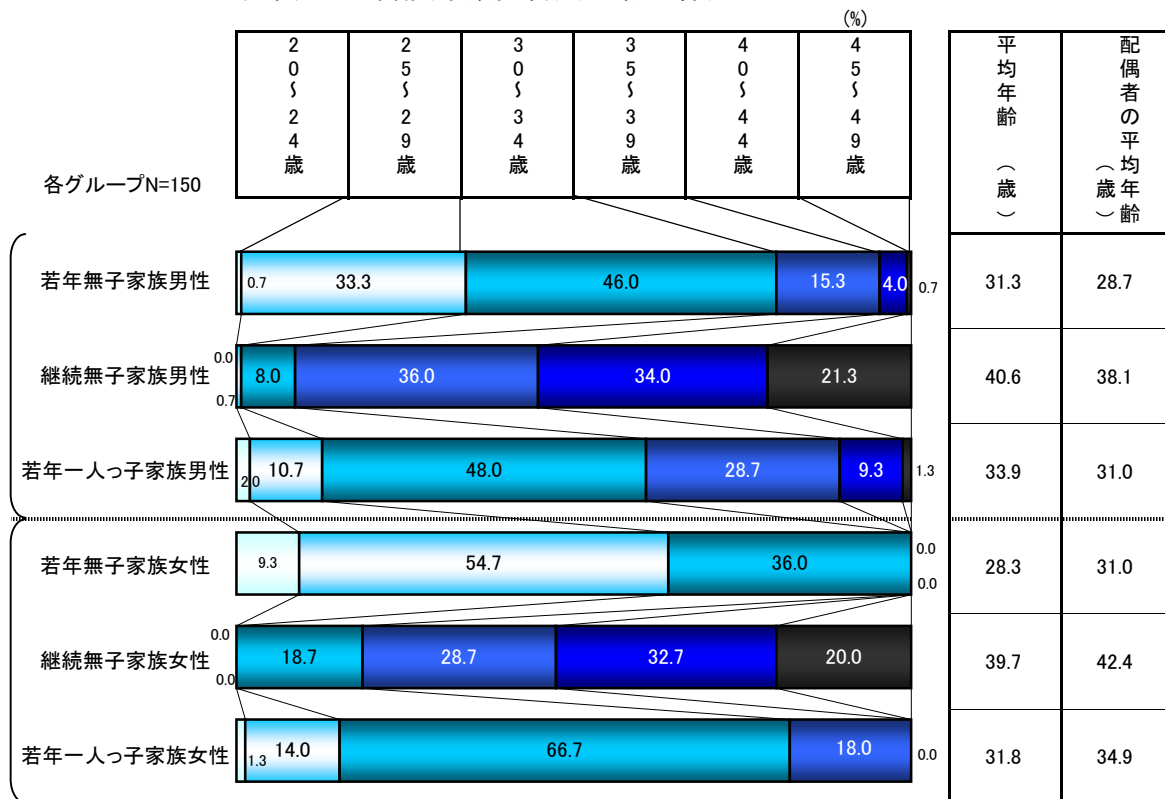
【女性】

【若年無子家族】の本人年齢は20代後半が54.7%と半数以上を占めているのに対し、【若年一人っ子家族】では30代前半(66.7%)が中心となっている。平均年齢は【若年無子家族】28.3歳に対し、【若年一人っ子家族】は31.8歳と3歳程度の開きがある。

一方、【継続無子家族】では30代が47.4%、40代が52.7%であり、平均年齢はほぼ40歳で、若年グループとはほぼ10歳の開きがある。

なお、本人と配偶者の年齢の開きはどのグループでも概ね3歳前後である。

図表1-2. 年齢(単数回答)(基数:全体)



1-3. 住居形態(FS6)

【男性】

【若年無子家族】の持ち家率は36.7%であり、【継続無子家族】:70.7%、【若年一人っ子家族】:62.0%に比べて低い。

【女性】

女性の場合も同様の傾向がみられ、持ち家率は【若年無子家族】34.0%に対し、【継続無子家族】:76.0%、【若年無子家族】:64.7%となっている。

1-4. 学歴(FS3)

【男性】

「大学および大学院卒」の比率は、【継続無子家族】が48.0%で最も高く、【若年無子家族】が42.7%となっており、【若年一人っ子家族】30.7%に比べて高い。

【女性】

男性に比べ、「大学および大学院卒」の比率は低く、どのグループでも2割前後にとどまっている。

図表1-3. 住居形態(単数回答)(基数:全体)

図表1-4. 最終学歴(単数回答)(基数:全体)

